

## ★漢方あれこれ★

## ◆ 医 緩 ◆

「やまい膏盲(こうこう)」

という言葉を生んだ名医

太田 順康

紀元前590年頃の秦の国の名医。晋の国の景公が病気になるに重態となった。侍医では手に負えずその頃大國であった秦から医者を派遣して貰うことになった。秦の桓公は緩を晋に送ることにした。

緩が晋国に向かっている時に、景公が夢を見ました。夢の中で景公を苦しめていた病気が2人の子どもになって現れ、「秦の国から今度来る医者のは緩は名医だ、きっと我々を見つけて排除するだろう。どこへ逃げたら良いだろう。盲の上(横隔膜の上) 膏の下(心臓の下)に逃げ込めば我々をどうすることも出来ないだろう」と話しをしていた。

緩が到着して景公を診察して云いました。「公の病は治せません、盲の上、膏の下が病気です。鍼も届かないし、薬も届きません。」と。

これを聞いた景公は「あなたは名医だ。」と厚く礼をして秦の国へ帰らせた。

この故事から不治の病に罹ることを「やまい膏盲に入る」と言うようになりました。

現在膏盲を膏(こう)盲(もう)と間違えて「膏盲に入る」と覚えている人が多いようです。

病だけでなく、趣味や道楽が高じて抜けだせなくなることを云うようになりました。～オタクなどはその状態ですね。

ラインなどに嵌ってスマホが手放せなくなったスマホ中毒もそうですね。

皆さんの抜けだせない道楽、膏盲に入ったものはなんですか。私の場合は「漢方の勉強」と「ボーイスカウト活動」ですかね、ちょっと格好つけ過ぎですか？

(つづく)



## 在禅洞

## すこやか教室 山歩き

◎10:30 出発です。

もう4月。そんな思いがするほどに、お天気の変化も速く、世の中もせわしいこの頃です。路肩の草たちが顔を出したかと思ったら、フキノトウ、コゴミ、セリ、ミツバ、そして桜、コブシとにぎやかになりました。

山歩きの出発点、松尾池はカモやオシドリがいて、近年写真愛好家の溜まり場になっていますが、何故か3月に入ってカモたちが一羽残らず居なくなりました。何十年も通っている場所で、一年中留まっているカモも多かったのに、こんなことは初めてです。先週はオシドリが僅か残っていましたが、まもなく居なくなるでしょう。不安になる風景でした。変わらないことの有り難さを感じます。

3日(金) 10日(金) 17日(金) 24日(金)

## § 漢方相談日

(担当 太田順康：日本漢方交流会認定漢方終身師範、岐阜県漢方研究会会長、岐阜薬科大学「漢方学」講師)

今月の漢方相談日は、下記のとおりです。

13日(月) 20日(月) 27日(月)

## § 4月の休診日

ありません。

太田先生の

「くらしの

薬草と漢方薬」

ハーブ・民間薬・生薬



新日本法出版  
B5版・総頁382頁  
価格 3,300円+税



タバコを止める習慣や治療はがん予防でできます  
ニコチン依存を断ち切って、健康な生活を！